

(福祉部長)

Q ボランティアのポイントは何かか。

A この事業は国が取り組んでいる「スマートウエルネスシティ」プロジェクトの一環で、茨城県ではつくば市などで取り組んでいる。ボランティアについてはイベント参加も入りたいと思っている。

(町長)

議席10番

田山 文雄 議員



英語教育の取り組みについて

Q 今年9月より町独自の施策として、外国人教員を招致しての英語教育を行う予定となっているが、具体的な町の考え方、将来の展望

について。

A フィリピン人英語教員を招聘しパイロットプログラムを実施いたします。継続して実施する事業と考え、平成29年度は境小学校をモデル校として9月から3月までの期間において課題や改善策を検証いたします。このプログラムによる英語スキル目標は、小学校卒業時英検3級程度、中学校卒業時英検2級合格、また世界共通テストであるトリーックでは600点以上を設定して取り組んでいきたいと考えております。

(町長) (教育次長)

Q 英語教育を学校教育だけでなく、社会人や役場職員を対象として英語教育の機会を拡げていく事もできると聞いているが、町の考えについて。

A 現在のALTでは、英会話活動だけでなく、直接指揮や英会話活動以外の従事はできない事となっております。今回のプログラムでは、直接町が雇用する契約であり学校現場以外でも英語教育に従事する事が出来ます。公民館の英語教室等をはじめとして必要に応じて順次対応したいと考えています。

(町長)

防災の取り組みについて

Q インターネットラジオを基盤とした新災害情報伝達システムの導入についての町の考えについて。

A 境町ではアナログ通信による防災無線を全戸に配布してから10数年が過ぎ平成35年までにはデジタル無線化の整備が必要となります。

今回の災害情報伝達システムは、スマートフォンやタブレットなどを活用し災害時の情報伝達や緊急時には個人の位置情報が確認できるシステムで、メリットとしては、インターネット環境があればどこからでも情報配信、集約が可能であり、経費の削減にもつながることから新年度の実証事業として進めていきたい。

(総務部長)

動物愛護の取り組みについて

Q 犬猫の殺処分頭数は年々減少傾向にあるが、茨城県は犬の殺処分頭数が全国で2位と未だに高い水準にある。町としての取り組みについて。

A 犬猫の避妊、去勢のための補助金交付を実施しており今年度は

2月までに63件について交付しています。平成28年10月より茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例が施行されたことに伴い、動物指導センターのホームページ上での保護

されている犬猫情報の公開期間が延長され飼い主がみつかるケースもできております。

今後におきましても、殺処分ゼロを目指し飼い主のマナー向上等の取り組みを進めていきたいと思っています。

(総務部長)

議席6番

飯田 進 議員



観光事業について

Q 国の拠点整備事業の補助金を獲得したと聞かすが、道の駅さかいの今後の整備方針は。